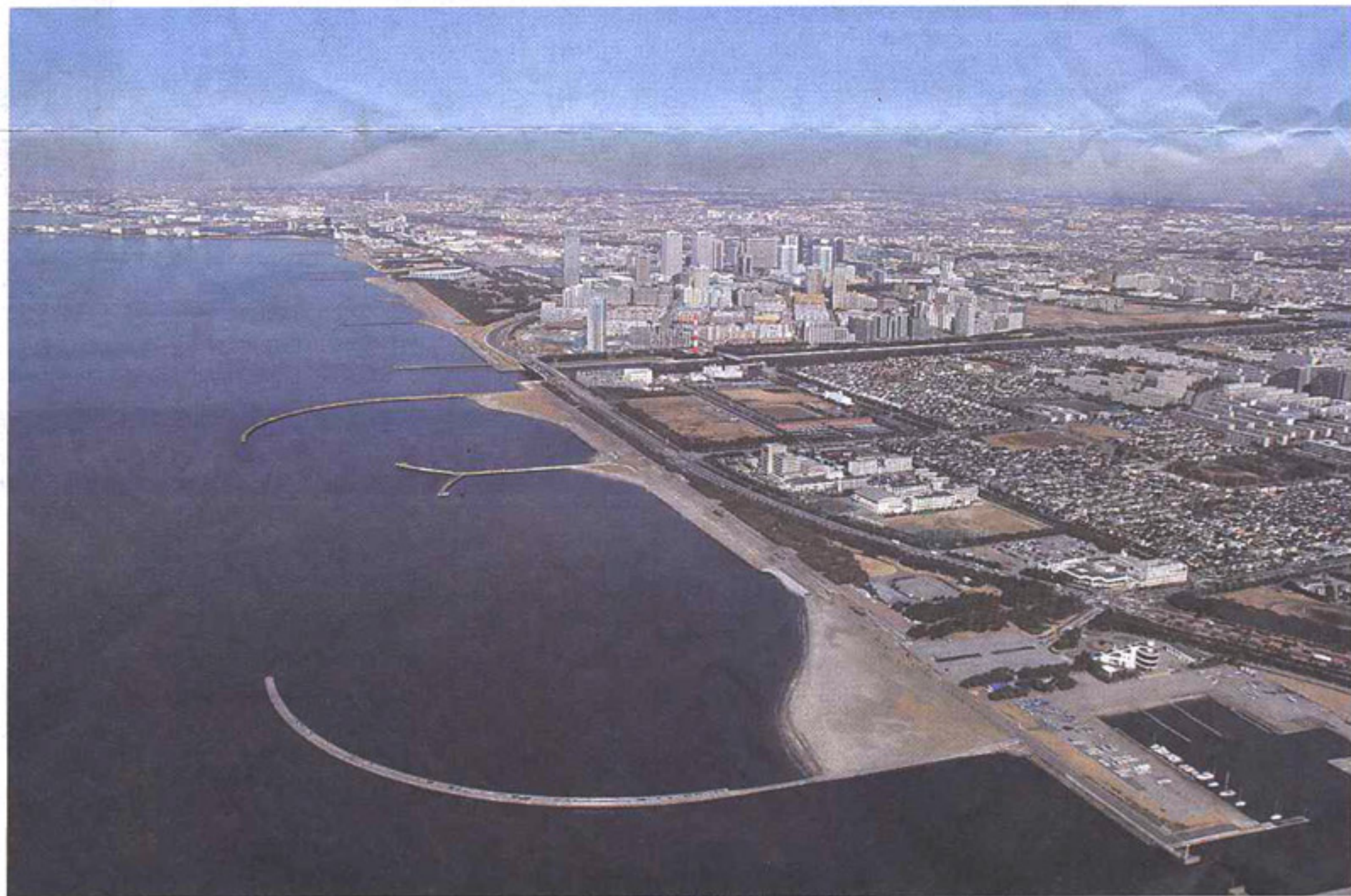


国内屈指の国際貿易港に賑わいの場



日本一の長さを誇る人工海浜(検見川浜～幕張の浜)



6月に開催される「Red Bull Air Race Chiba 2016」
Jason Halayko/Red Bull Content Pool

全長約42kmの海岸線がある千葉市は海辺を市固有の「貴重な財産」として、五つのエリアに分けて地域資源を活かした街づくりを進めている。

幕張の浜」「検見川の浜」「いなげの浜」の3エリアは人工海浜が整備され、総延長は全国でも類を見ない約4・3km。「幕張の浜」は花火や音楽イベント

都市生活に海辺を活用

トが行われ、「検見川の浜」はマリンスポーツのメッカに。1976年オープン

の「いなげの浜」は国内初の人工海浜で、東京都心

に最も近い海水浴場として「幕張の浜」を開催。国内初開催

だった昨年は、国内外から約12万人の観衆が集まった。千葉市はことし3月、スポーツや娯楽だけでなく都市生活のあらゆる場面で



千葉市の夏の風物詩「幕張ビーチ花火フェスタ」



蘇我地区にある「エフ千葉の本拠地」フクダ電子アリーナ

港周辺にも憩いの場や文化・観光施設

「千葉みなと」地区内には警察署や法務局などの官公庁が集まり、大型マンションなども増加。人工海浜や芝生広場がある「千葉ポートパーク」は地区住民の憩いの場となっている。パーク内の展望施設「千葉ポートタワー」は地上125mから東京湾を一望にできる。2階は「恋人の聖地」に認定されており、県内有名作家を中心に、品など約2400点を収

蔵。さん橋の完成を記念して、あす16日から7月3日まで船や港の特別展「ボン・ボヤージュ」を開催する。フランス人画家、ジョルジュ・ピゴが描いた明治時代の稲毛海岸の作品などが展示される。また、さん橋の供用開始を受け、小湊鉄道は、千葉駅西口から千葉ポートタワーまで運行している路線バス「千葉みなとループバス(タワーコース)」に、停留所「ゲーズハーバー(旅客船ターミナル)」を新設した。



千葉みなと地区のランドマーク「千葉ポートタワー」



千葉県立美術館